

日記



Aブロックにエントリーされた全12作品を公開します。

覇者となったのは果たして誰??

<http://www.columnland.net/> にてごらんください。

同業者

5月24日（木）

今日は収穫が無かった。電車の中で、お尻のポケットに入っている無防備な財布を取ったのだが、どこかに落としてしまったようだ。落とすだけなら足もつかないから良かったかもしれない。そろそろこの職も辞めるか。

5月24日（木）

今日は収穫が無かった。いかにも取ってくださいと言わんばかりに飛び出している財布があったから長年の習慣からとったのだが、後でよく見たら俺の財布だった。あの人は交番に届けようとしていたのかな？親切な人もいるもんだな。俺もまともに働くとするかな。

5月25日（金）

今日はバイト先で昨日の男と一緒にになってしまった。財布をなくして困っているのかと思いきや、驚いたことに札を言われてしまった。よく分からなかったが、俺も謝った。これからはまじめに働こう。

5月25日（金）

今日はバイト先で昨日の男と一緒にになった。財布を拾ってくれたことに対して札を言ったのだが、なぜか謝られてしまった。おれもあんな人になれるように頑張ろう。

2053年4月27日

A-2 ついに彼女に振られた。理由は定職にもつかない奴とは無理、だそうだ。この前の企業の面接も落ちたし、オレはどうしたらいいんだろう。

2053年6月13日

やっぱり駄目だ。どの企業も今まで遊んできたオレなんか雇ってくれない。もう無理だ、何をやる気もおきない。

2063年2月19日

久しぶりにこの日記を開いた。これまで頼りにしてきた親が、過労で死んだ。こうなったら、長年、社会のゴミだと言われてきたオレだが、何かでつかいことするしかないか？さしあたり、遺産でも使ってメシでも食って考えようか。

2063年3月26日

思いついた、でつかいこと。親がいつも言ってたよ、「他の人に出来ないことをしろ」ってね。だからやってやる、オレは「死の感想」を書くんだ。ま、たいがいの奴にや理解されんだろうさ。仕組みは、まず首をつる。その間、どんな感覚かを書き残す。だがそのあと、心肺蘇生で生き返るのだ。現代医学なら、この程度、なんでもなくてできるだろう。明日から、早速準備だな。

2063年7月4日

ようやく準備が整った。無い人脈使って医者とライフセーバー2人呼んで来た。みんな快く引き受けてくれたよ。医者は絶対平気だつて言っただけ。ただ、その時の目は妙に笑ってやがったが、まあオレの考えに驚いてやがるんだろ。

いよいよ挑戦だ。台と縄も用意したし、このノートとペンも持った。行くぞ。や、逝くぞ、なんてな。これが終わった後にはオレはすげえ奴になってるぜ。

「感想」

おもったよりくるしくない。しだいにぼーっとするかんじだ。

かおがあつくなくてきた。

めのまえがあかい。そろそろしぬのかな。

あ、あいつらわらってる。あのめだ。すげえだろ。

ん、どいくん、これからでばんだろ。

まさか

しに たくな

恋 時 雨

6月4日

今日、淋しそうにしてる蕾を見つけた。なんか気になったから、話しかけてみた。

聞くとところによると、彼は仲間達とはぐれて独りで育ってきたらしい。だから、友達が居ないんだそう。

私に何かしてあげられることはないかなあ。

6月4日

今日、雨雲の中から話しかけてきた雨粒が居た。雨のクセに、陽気なヤツだった。

それにしても、初対面のヤツなのに、あんなことを話してしまうなんて、思い返せば随分と恥ずかしい真似をしてしまった。

明日も……いや、期待するのはよそう。

6月5日

今日も彼と色んなお話をしたけど、彼は恥ずかしがり屋なのかな？あんまり積極的に話そうとしてなかったし。あ、もしかして蕾だからなのかな？

そういうえばここ数日、この辺りは雨が降っていないみたい。彼が咲かないのは、これが理由なのかも。だとすれば……

6月5日

あいつはまだ降っていないかった。相場はどれぐらいかわからないけど、そう長くはないだろう。でも、できるだけ長く居て欲しいと思ってしまう自分が居る。

そもそも、友達のいない俺が、こんなに誰かと喋ったのなんて、どう考えても初めてだ。あいつには、なんて感謝すればいいだろう。

6月6日

昨日思いついたことを早速提案してみた。そして、彼ってばいきなり怒り出した。ちよつと怒着せがましかったのかなあ……

でも、そうしないと彼、いつまでも咲かないのになあ……

6月6日

まさかあいつがあんなことを言うなんて。確かにあいつが俺に降れば、俺は咲くかもしれない。そして、友達も出来るかもしれない。

でも、でもそうしたらあいつは消えてしまうじゃないか。そんなのは、嫌だ。

6月7日

今日は彼と話さなかった。

だって、合わせる顔がないもん。また彼を怒らせちゃいそうだしなあ。

6月7日

今日はいいつと話せなかった。

まあ、少し前に戻っただけだ。別に、どうってことは、ない……

6月8日

今はまだ朝だけど、今日の分を書いちゃいます。だって、あたしは今から降るって決まっちゃったから。できれば、彼の上に降りたいな。

6月8日

今日は朝から雨が降った。これでやっと俺も咲ける。その姿をあいつにも見て欲しい。それで仲直りしよう。そう思ったのに。

それじゃ、いってきます。

最初に見た雨粒は、あいつだった。

O. O. C 隊員の最後の日記

△月十一日

指令が下った。

某所の敵基地に潜入したG隊員が消息を絶った、探して来い……というこらしい。まさか、あのG隊員が……。そう簡単にはいかなさそうだ。早速その基地へ潜入する。潜入するのは容易だった。いつも思うが、敵側の監視体制はザル過ぎだ。

その後、辺りを調べたが、G隊員は見つからなかった。調べ方が足りないか。明日も引続いて探すことにする。

△月十二日

敵に見つかった。

その時の敵の形相は凄まじく、なにか叫びながら殴打兵器「H—ETTK」を振り回して来た。ほとんど我を失った凄まじい敵の乱打をかわしきれなかった……。

まあ、身につけている漆黒の鎧のお陰で致命傷には至らなかった。漆黒の鎧に感謝だ。しかし、「H—ETTK」なんて久しぶりに見た。

敵の武器は大抵「S—NNNS」だからな。

それはともかく、今日もG隊員は見つからなかった。

……が、やけにたくさんさんの遺体があった。

O. O. C 隊員ではない。ほかの隊の隊員のようなが……嫌な予感がする。

△月十三日

探索を続けていると白い煙が漂ってきた。

……すると急に意識が遠くなってきた。

どうにか一時的に難を逃れることは出来たが……。

あれはまさか、最終大量破壊兵器「BAL—SUN」なのか？

こんなものを使用してくるとは……敵はどこまで残忍なんだ。

昨日の遺体はすべてこれによるものなのだろう。

G隊員もこれの餌食になったに違いない……。

白い煙がここまでやってきた。もはや私は戻ることはできないだろう。

最後にひとつ書いておく。

Order of Cockroach 万歳っ!!

——日記はここで終わっている——

6月21日：“あるもの”が私の体内に入っていく。ほんの偶然だった。つい軽い気持ちで扱ってしまったのだ。やめられなかった。

6月30日：ようやく気付いた、それが私のなかで増殖しているのを。
もはや手遅れだ。止めることはできない。せめて私が正常
なうちは記録をとどめておこうと思う。

7月6日　：感じる。私には感じる、*“それ”*が私の躰をどんどん侵食していくのが：止まらない

7月10日…恐怖が私を支配する。 “それ” は私の無意識の中に入り込んできている。勝手に体が動いてしまう…

7月13日：駄目だ。私の体が、私の中のものがまだまだ“それ”を求めている。やめられない。麻薬中毒症状に似た感覚が私を襲うのだ。

7月2日：やめろ！もう私の中に入ってくるな！

7 ■■■ 日■■■■ 過剰摂■は面倒でありますが小生の体内にはメタリックがおります故実■■■の感覚というのは快感に近いものがあります。(以下略)

■ ■ 3日 … やつは私の ■ ■ となるやつは ■ ■ 一部となルヤツハ ■ ■
■ トナルヤツハワタシトナル

(記述なし) …や■■■■■い止まらないカ■ビーが■ルビーがああ
 …やめられない、止まらない…

The days of an arm

5 / 2 0

収容施設というところにつれてこられた。いったい私たちが何をしたというのだろう。一緒にいた私の子供は乗せられたトラックから降りたときに、軍人が無理矢理私の手から離し子供だけに乗せたトラックに乗せてつれて行かれてしまった。私は泣いて抵抗はしたが軍人は銃を持っていて、それを私に突きつけて脅し、私は仕方なく言われたように小さい建物に入った。そこで男女問わず裸にされ何も持っていないか簡単にチェックされて、順番に腕に焼きごてで刻印をされた。そして、私のここでの名前は「1 8 5 3」になった。その後、私達は小屋のような小さい建物に非常に大人数で入れられる。ここが生活をする場のようだ。私の子供はいったい今どうしているだろう。腕の刻印はひどく腫れ、寝られない。小さな窓からは塔が見えた。

5 / 2 1

今日、仕事をさせられた。大人数で穴を掘った。そもそもなぜこんな所につれてこられて、働かされるのか理解できない。銃を持ついる軍人にそんなことを聞くことはできない。仕事をしていた、遠目でフェンスと壁が見えた。どうやら私たちはそれらに囲まれているらしい。ほかに背の低い建物がいくつか、それに塔と堀のようなものがあつた。塔はどうやら監視塔らしかった。

5 / 2 2

軍人は私たちが仕事しているのを横目に、煙草を吹かしたりトランプで遊んでいた。漠然とした怒りがこみ上げてくるが、どうしようもできなく腹立たしく穴を掘りながら泣いてしまった。その後私たちは始めてここに来た日とは違う建物に入れられた。軍人はそこで私たちに大量の白い粉をかけた。いったい何だったのだろう。その帰り道、私たちは見てはいけな物を見てしまった。フェンスの近くを通ったときにその下に黒い物体を見つけた。それは真っ黒だったけど明らかに人の形をしていた。どうやらそれはかつて人であつたらしかった。何人かは発狂したように叫び泣き、また何人か

は気を失い、嘔吐した者もいる。皆一瞬で悟った。あれが数日後の自分だということ。

5 / 2 3

皆、昨日見たことを一言も口にしないが表情からが疲れ、焦燥し、混乱している様子が分かる。いずれ近いうちに自分もただの物になるということ突きつけられているのだから当然だ。昼頃で穴を掘る、というより堀を掘る仕事は終わった。軍人は私たちに次の仕事を与えた。次はどうやら道路の整備のようだ。私たちはその仕事に移る前に、寝泊まりする建物に戻り昼食を取った。そしてそこでまた見てはいけな物を見てしまった。窓からさっき私たちが掘っていた堀が見える。そこにトラックが来たと思ったら、そこから人の形をした黒い物体や赤く染まった手足や頭のような物が大量に出てくるのが見えた。皆言葉を失った。今日、数人がフェンスに触れ、自ら死んだ。

5 / 2 4

同じ建物にいた数人が突然死ぬ。斑点があり、腐乱臭がした。私たちは命令され、それを運びトラックに乗せた。思わず嘔吐した。また数人は建物の中から消えていた。昼頃には、私たちが舗装している道路をトラックが通っていった。そこから一本の赤い腕が落ちた。私はその腕に見覚えがあつた。周りの人はもはや何も見ていないよううつろな目をしている。私はその腕を服の中に隠し、寝泊まりする建物に持ち帰り、寝る前一人になったときにもう一度その腕をよく見た。数日前私が握っていた手に間違いなかった。私はそれを抱き眠りにつくことにする。

5 / 2 5

私の体に斑点が現れ始めた。あの腕は寢床に置いてある。また今日も何人かは消え、何人かは死んだ。私はどのように死ぬのだろう。病気で死ぬのか、フェンスに触れ死ぬのか、それともあの真っ赤な腕のようになるのか。どのみち先は長くない。自分で掘った穴に捨てられるのだろう。きっとこれが最後の記録になるだろう。死ぬときはあの腕を抱きながら死にたい。

A-7
2007-05-21 21:34:30

『どすこいでゴワす！！』

どうも僕です

なんか今日通学途中の電車で

いつもながら人多いなー

とか思っていると

何か視界に妙な頭が

あれはもしかして・・・

うわああああい♪

おすもうさんだあー

なぜかちっちゃい男の子に妙に人気あるよねおすもうさん

人生で初めてこんな間近でおすもうさんを見て、心の中で意味もなくはしゃぐ
俺

自分ガキですから

とりあえず日本の伝統ある国技を背負っているおすもうさんに感謝しつつ電車を降りる

けど、満員電車でのおすもうさんはかなり迷惑だよな
空気読めよ

5月17日（木）

きのうは水曜日であったが、金曜日の時間割にふりかえられていたので数学があった。その時に今度の金曜日、要するに明日これまでの総復習テストをやると言われた。それだけでも十分やることがあるのだが今日は実験、バイトでかなり苦しい。

このことを友達に言ってみた。

「あとでこまることをなんで今こまっているわけ？こまるんだったらこまったときだけこまればいいじゃん。そんなんだったらさっき俺が実験でまちがえたやつはどうなるわけ？おれは朝起きたときからそれをこまってるないといけないわけ？」

なるほど、と思った。つまりこまっている時間が無駄だってわけだ。

明日おれはこまるだろうが無駄な時間は使っていない。

オン&オフ

5月7日(月)

なんか今日はあんま良くない一日だった。

まず体調が悪い。頭痛いし若干吐き気もする…そのせいで授業にも身が入らなかったし…最悪だ…

大学始まってから授業やら部活やらで忙しくてほとんど休んでなかったからそのツケが回ってきたのかもなあ…一度しつかりと休みを取らないと体がもたないかもしれない…

それに部活の雰囲気が悪いような気がする。みんな心なしか僕を避けているような…普段はやさしい先輩たちも急によそよしくなったし…何かあったのかな？

つーかよく考えたら僕は昨日何をしていたっけ？記憶にないや…昨日の日記は字が汚すぎて何を書いてあるか訳分からんし…何したんだっけ？

まあいいや、今日はもう寝よう。

5月6日(日)

本日は**最高**！新歓コンパ超楽しい！

酒いいね！ハイになるぜ！初めて飲んだが全然ユウだな！

俺のおかげで今日はめちゃくちゃ盛り上がった！

俺の「半裸で一人鬼ごっこ」ほど盛り上がる一発芸は無いね！

あと、威張ってるだけの先輩どもにも「てめえらなんか俺がらの部活に入るまでの前座に過ぎないんだよ！」ってガツンと言っちゃったぜ！

いやあスカッとしたね、俺はやる時はやる男なんだよ！

これで明日から部の中心は俺だな！

今から楽しみだぜ！

疲れた。寝る。

とうきょう

凍狂一週間

4月1日(日) ついに今日から始まった東京での一人暮らし。心機一転、これから今まで始めたこともない日記なんてものを書いてみようと思う。思えば3月に合格して、部屋探しから引っ越しまで長かったなあ……。予想以上にマンションの部屋はせまい。物を置く一気にスペースがなくなる。でも挨拶に行った隣の人は愛想がよさそうだったし、まあいいか。右隣の人は大学2年らしい。左隣はおじさんだったけど、何の仕事かはわからなかった。まずは人のつながりが大事だって母さんも言ってたし、いろいろ辛いだろうけどこれから頑張っていこう。

4月2日(月) 夜、夕飯を何作ろうか考えていたら、ドアのベルが鳴ったので出てみると、お隣のおじさんだった。昨日とは違って変ってやたらと目つきが鋭い。話を聞くと、御挨拶ということで石鹸を持ってきたらしい。いい人だなと思ってありがたく受け取ろうと思ったら、渡す直前に新聞の話を始めた。実はあのおじさん、新聞屋をやっているらしい。それで僕に粗品をやる代わりに新聞を取ってくれと頼みにきたようだ。僕は新聞なんて読まないで、困っていると、さらにビール券やら油の詰め合わせなど色々と僕の部屋の中に無理やり押し込んできた。やっぱりあのおじさん、いい人だったんだ。こんなにたくさんのをくれるなんて。お礼としてあんまり読まないかもしれないけど、新聞、とることにしよう。大切なのは人のつながりだよ。それにしても契約書を書かせるときのおじさんの顔、怖かったなー。

4月4日(水) 地元では映らなかったテレビ東京のチャンネルがあることに感動しつつ、この夜、僕はフジテレビを見ていた。すると、またチャイムが鳴る。あわてて出ると、そこには知らないおじさんが一人。宅配便って感じじゃない。誰だろうと思って話を聞くと、NHKの受信料の集金にきたとのこと。NHKなんて見たことないし、これからは見るのがないと思うんだけどな……。そんなことを一応おじさんに言ってみると、おじさんの目の色が変わった。なんか……

とてもギラギラしてた。口調も変わったし。NHKの料金を払う人がいかに多いかを永遠と説明し始めた。止まらない。こっちの話は通じていないみたいだ。地デジは双方向だって言うのに、この人はアナログ放送のようだ。僕は泣く泣く受信料を払うことにした。あのおじさんの話を視聴するよりNHKを見たほうがいいのかもかもしれないと本当に思った。

4月6日(金) 入学式も終わっていいよ大学生活の幕開けって感じだね。これからの生活に浮かれて、ひとり部屋でにやける僕。すると、チャイムが鳴る。この間みたいなこともあるけど、今回はきっとまともな用件だろう。そう思ってドアを開けると、今度はスーツのおじさんがいた。手にはカタログが。怪しい。見るからに怪しい。宅急便なんて絶対にない。ゆっくりと口を開こうとするおじさんがスローに見える。やばい。僕は、ドアを閉めようとした。——が、閉まらない。なぜだ。下を向くと見えるオジサンズの皮靴。ドアに挟んでやがったか。お客さん、一回だけでいいから聞いてくださいよ〜、だって。なんか東京の水は汚いから、浄水器をつけておいたほうがいいんだってさ。水はスーパーで買うから、水道水飲まないのに……。でも、ちらちら見えるおじさんの影に隠れた真っ黒なオーラが怖くて断れない。あのおじさんの心を浄化する機械なら飛びついて買ったんだけどな……。ハイペースでなくなっていくお金。一人暮らしのつらさがわかってきたかも。

4月8日(日) 今日でようやく上京して一週間か……。長いものだね。でも、段々人間を簡単に信じちゃいけないってことがわかってきたような気がする。あとそれから、このマンション壁薄すぎて、隣の人の声筒抜けだよ。隣の大学生バワプロで盛り上がりすぎだよ。うるさいよ。俺も混ぜてよ。……。あ、なんかチャイムが鳴ったみたいだ。誰か来たみたい。じゃあ今日の日記はこまめにしておくか。

あの日を記す

- 18年前のあの日 俺は生まれた
- 13年前のあの日 俺は奈良公園の鹿にタックルされた。鹿せんべいのせいだ
- 10年前のあの日 友達の母親にリカちゃん人形をもらった。何も考えずうれしかった
- 9年前のあの日 俺はスキーで直滑降してみたら骨を折った。ばかだったな・・・
- 6年前のあの日 電車料金がおとな料金になった。複雑な心境
- 3年前のあの日 多くの出会いの始まり。人生が変わった
- 1年前のあの日 何かが動いた。自分の成長と未熟を感じた。
- 2ヶ月前のあの日 新たな出会い。きっとこれから俺はまだまだ変わっていくんだと思う
- 10年後の今日 . . .

真っ白な日記に
俺は何を書くのだろう

○月×日

日記なんて、小学生の夏休みの宿題でしか書いたことが無い。
しかも超嫌々。

でも今日は初めて自分から日記を書いてみようと思った。

あなたに会えた、今日という日を忘れたくなかったから。

自分の恋に酔いまくってる気持ち

洗いざらい書こうかと思っただけ、

アンネの日記みたいに、自分の死後に全世界に

公開されたら恥ずかしすぎるから、

やっぱりやめとこ。

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	同業者	17 pt	2 位	0 sp
		サイフ 1 ケが紡ぎ出す愉快的すれちがい。シンプルな構成で、すべてをクリアに見せて、あ、なるほど!! と。あざやかです。 その謎解きの爽快感がハッピーエンドのほのぼの感ときれいにシンクロして、とても完成度の高い表紙作品でした。		
A02	ある自殺現場に落ちていた日記	1 pt	10 位	0 sp
		10 年飛んだ日付にドラマを感じました。こうやって時の経過のなかで見せていただいたので、人生を終わらせる「でっかいこと」という発想にも流れの中で自然に乗れました。 でも医者とライフセーバーの存在が謎です。妄想の中の存在??		
A03	恋時雨	10 pt	3 位	1 sp
		雨粒さん、究極の自己犠牲。せつない。O.ヘンリーの短編みたい。(←ほめことばヴァージョン) 水なんだから、輪廻転生して、また戻ってくるよね。枯れちゃう、一回限りのツワブキとは違うのでは。(←ツッコミヴァージョン) 特別賞：今週のニヤニヤ大賞（主に書記の人がニヤニヤしたから）		
A04	O.O.C隊員の最後の日記	25 pt	1 位	5 sp
		G = ゴキブリの出現は、この季節のコラムランドの風物詩。今年は何匹出現するのでしょうか？ そんなありがちなネタなのに、この作品が映えるのは、戦闘員っぽい言葉づかいがきっちり達成されていることと、そしてもちろん、ハエタタキ・シンブンシのユニーク表現の楽しさ。こういうサーヴィス精神が読者にはうれしいですね。 もののみごとにヒットして圧勝＆最多特別賞でした。おめでとう!!! 特別賞：ひねりすぎで賞（ナゾがとけたときの感動）/ バル・サン賞/ゴキちゃんかわいしょう。/南口賞/まっくろで賞 イチオシフレーズ：「Order of Cockroach万歳っ!!」「S - N B N S」		
A05	Kappa - エビセン - 体内に及ぼす影響	4 pt	8 位	3 sp
		やめられない止まらない。どんどんどんどん暴走して、ラストにぼろりとエビセン。 爆笑の破壊力でした。 事前にT A 陣が予想したほど順位が伸びなかったのは、ゴキちゃんに食われてしまったのか!? エビセンだけに。 特別賞：カルビー賞/止まらない賞/メタボリック賞 イチオシフレーズ：「メタボリック」		
A06	The days of an arm	9 pt	4 位	1 sp
		人がモノになる悲惨。描ききって迫力。 イメージはゲッターでしょうか？ それとも起こりうる未来でしょうか。 あまりに救いのない展開に、読者のほうがつらくなりますが、敢えてそこへ追い込むのが執筆意図なのかな、と読みました。 特別賞：技術賞（読者を引き込む文章だから）		
		1 pt	10 位	1 sp

A07	どすこいでゴワす！！	おすもうさん。ブログ、ということでしょうか。友達トークを聞いている気分で読めました。 「自分ガキですから」あたりの素（す）のトークが好感度大。 「空気読めよ」というラストの言い方はちょっときつい印象なので、もっとふわっと終わってもよいのでは。 でもこの「ひとさし」が良かったのかな。特別賞の命名にもなりましたし、なんと言ってもイチオシフレーズ大賞ゲットです。おめでとう♪ 特別賞：空気嫁賞 イチオシフレーズ：「空気読めよ」×4 「うわああああい」 おすもうさんだあ」×2 「どすこいでゴワす」
A08	5月17日（木）	6 pt 6 位 1 sp リアルだなあ、実話？ 「こまったときだけこまればいいじゃん」という友達のアドバイスがてきとーなようできて、けっこう深い。 ふっと気持ちの軽くなる展開に、丸ゴチックがよく似合う、なごみ系作品でした。 特別賞：努力賞 イチオシフレーズ：「明日おれはこまるだろうが無駄な時間は使っていない。」
A09	オン＆オフ	8 pt 5 位 1 sp どうしても日付を追って順番で、という約束事になりがちのなか、一日戻ってタネアカシ、という固定観念のはずしかたが秀逸でした。 つくりも楽しく、話題も親しみやすく、かつ、知らないほうがしあわせなことって世の中にあるよね、とこっそり盛られた人生哲学（？）に納得。 特別賞：酒乱賞 イチオシフレーズ：「半裸で一人鬼ごっこ」×3 「てめえらなんか俺がこの部活に入るまでの前座に過ぎないんだよ！」
A10	凍狂一週間	6 pt 6 位 0 sp 恐いおじさんシリーズ。招かれざる訪問客がつぎつぎと……。展開はシンプルなのですが、話を視聴するとか、心を浄化するとか、それぞれのエピソードへのツッコミがくすりと楽しく、しかもこんなにさんざんなめに遭っても、「俺も混ぜてよ」とカラに閉じこもらない主人公に共感。
A11	あの日を記す	0 pt 12 位 0 sp ていねいに自分史をたどって、ラスト未来へ向けた思いがずっと広がります。 「あの日」が、それぞれ違うのでしょうか、リアルな数字をはめこんでゆくと、もっと日記っぽくなったのでは。 イチオシフレーズ：「鹿にタックルされた」
A12	○月×日	3 pt 9 位 2 sp 空白に語らせるワザでした。 センチメンタルに始めて、ちょっと迷いの空白があって、やっぱやめとこ、と引く自分があって。乙女ゴコロの三変化（へんげ）、きちっと読みとっていただけたでしょうか、男子諸君！ 特別賞：ハズかしい賞（アンネの日記を持ち出す発想力が好き）/日記で賞？（変な日記でよかった。実は日記書いてない） イチオシフレーズ：「やっぱりやめとこ」

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位特別賞
B01	好奇心のむく先	13 pt 4 位 2 sp タイトルがおいしい！ 「向く」と「剥く」のかけことばがしゃれてる！ ラストがおいしい！ みかん編をあれこれ想像して読者が楽しみをふくらませられる！ 身近な話題なので、ディスカッションすべりだしのトークも盛り上げられるし、いや、じつにみごとな今週の「表紙」作品でした。 会心のバナナ裂き、お茶会で実演してくださいましたよ、作者さんが。 特別賞：バナナマスター賞/ゆるゆるがいいで賞 イチオシフレーズ：「みかんを食べた」×2 「バナナが、裂けた」	
B02	暖かい人	0 pt 8 位 0 sp 犬かな？ 猫かな？ 一緒に寂しくなっていて一緒に暖かくなれます。それは、「ぼく」の気持ちだけにフォーカスし、「ぼく」から見えた光景だけを描くという誠実な手法に徹しているからだと思います。 ずっと気持ちが寄り添ってゆける好感度大の作品でした。	
B03	最後の晚餐	14 pt 3 位 0 sp 文章力、完成度ともに高いです。 でもモノ書き中毒って、モノ書きが書きたがるテーマで、新味がないのでは。手法としても、すべてが説明セリフで、かつ冒頭とラストの間に状況の進展がない、つまりストーリーが動かないのも、物足りない感を強めます。 先週のメロンゼリー（落選作品）のほうが、おいしかった、もとい、おもしろかったなあ。。。それにしても「食べる」ことのほんとお好きな作者さんですね。	
B04	Three days boy	0 pt 8 位 2 sp コメントの入れようがないです。オチに合わせるなら三日分はほしいところ。 でも、このどーんと空白感が演出意図なのかな、と。 特別賞：12がなかったらよかったで賞（ネタがかぶったから）/努力賞（がんばれ）	
B05	～1020日と17冊の重み～	0 pt 8 位 0 sp かわいくてしみじみ。 二人で向かい合って書いてる1月1日のくだりなんて、しあわせ感満開です。 高校生～大学生くらいの設定でしょうか。おしあわせにっ。 イチオシフレーズ：「ケッコンシヨウ」「ちなみに俺はこのまま永遠にこの日記は続けたいな。」	
B06	錯綜	24 pt 2 位 0 sp 緻密な構成にブラボー！ 映画「クラッシュ」を思い出しました（←この半年間に見たDVDでMYベスト3に入るオススメ作品）。 かしゅっかしゅっカメラアングルが切り替わるたびに見える現象の「意味合い」がくるくる変わる。そんなカオスな社会の機微をみごとにつかまえてコンパクトに凝縮したワザ師に乾杯であります。	
B07	交換日記～みっちゃんとさっちゃん～	2 pt 7 位 3 sp らくちんみっちゃんの天然ボケがすてきに楽しい。そこがイノチかな。 ただ、子供の作文にしては、いかになんでも漢字が多すぎて不自然。小学生設定ですよね。かたっぽうが、じつは先生でした、とかそんなオチではないですよ？（←これも楽しいかも） TAさんに教えられて、二宮金次郎都市伝説を初めて知りました。豆知識ゲット。 特別賞：みっちゃん！えらいで賞（みっちゃん！すごいよ！）/さっちゃんみっちゃん賞/全（きん）賞（みっちゃんが魅力的） イチオシフレーズ：「5 / 1 1（全）」×2 「二宮金次郎像は動かないよ」	
B08	メビウス	0 pt 8 位 0 sp うわー、シックス・センスだっ、て思いました。 幽霊になった気持ち、幽霊になったくせに幽霊だと気づいてない気持ち、描写がリアルで引き込まれます。特に、お墓の前での「まるでそこにだけしか『僕』がいないかのように……」が絶品。	
		0 pt 8 位 2 sp	

B09	密やかな愛の独白	タイトルが凡庸なのが、しみじみ惜しい。長すぎるのもしみじみ惜しい。でもすごい迫力の言葉の洪水に押し流されます。とりわけ7/10の「日常に寝転がる」、7/11のアッシリア、7/14の生首がパワフルな表現として突き刺さってきて、くらくら。真夏に似合うこってりテイストの作品でした。 難点は、すべてのパーツが自己主張を強くするので、かえって焦点がぼやけてしまう、というところでしょうか。 特別賞：精神がやばいで賞/ドンマイ賞（よくわからない） イチオシフレーズ：「Iのアイへの愛がiであったのではないか」
B10	ポチのご主人観察日記	3 pt5 位 1 sp 無条件でご主人を慕うポチのけなげさが、するすると伝わってきて、なごみます。 「四月一日って」というラストが特にいい。ご主人をさりげなくいたわろうとする、ポチのあたたかみが詰まっているような。 特別賞：エープリルフル賞
B11	連鎖	31 pt1 位 1 sp 殺意の連鎖が恐いです。遺書のタネアカシもきれいに入って、この短さでしっかりドラマを感じさせたミステリーでした。日記のかたちで＝一人称視点で展開して、さいごの1行でするりと引いた視点を提供。その痛快さも奏功してか、圧勝でしたね、おめでとう！ 特別賞：コナン賞（見事な推理） イチオシフレーズ：「何か探し物かい？」
B12	とある日記のひとこま	3 pt5 位 4 sp 1行コラムはこうありたい。まさに、お手本のよう。 1行コラムは一字のミスが命取り。その点でも、お手本のよう。 特別賞：（うちらが。）深読み賞（どうやって書いた？ 日にちと曜日があってないのは？？）/でたらめ賞/小ミス賞（ミスがちょっと面白い）/レイアウト賞（意外にこっている） イチオシフレーズ：「26」「明日書きます」×4で、こんなに字数が少ないのに最多特別賞&イチオシフレーズ大賞ゲットです。おめでとう！